

造影 CT 検査 問診・同意書 発行日： 年 月 日

検査日； 年 月 日 (曜日) 時 分

造影 CT を受けられる方へ 患者： _____

CT 検査では、ヨード系造影剤を静脈から注射しながら検査を行う場合があります。小さな病変や正常部位との区別がつきにくい病変においても、造影剤を用いることで明瞭に描出され、診断や治療方針の決定に役立ちます。

しかし、一般の薬と同様に造影剤にも副作用が起こり得ますので、万が一副作用が起きた場合にはすぐに対処できるよう準備を整えております。

使用方法；腕の静脈から造影剤を注入して撮影を行います。

ほとんどの場合、自動注入器を用いて造影剤を急速に注入します。

ほぼ全例で身体が熱くなりますが、血管の刺激に伴う正常な反応で心配ありません。

ただし合併症として造影剤が血管外に漏れた腫れた場合、痛みを伴うことがあります。多くは時間とともに吸収されますが、症状が長引くこともあります。

軽い副作用；くしゃみ、じんま疹、気分不快など・・・100人～200人に1人位

重い副作用；血圧低下、呼吸困難など・・・・・・・・・・ 1万人～2万人に1人位

重篤な副作用；ショック、心停止など・・・・・・・・・・ 10万人～20万人に1人位

その他の副作用として遅発性腎機能低下や数日経って皮膚の発赤、不快感、倦怠感、その他風邪のような症状が現れることがあります。

患者さんの同意・同意書がない場合には造影剤を使用しないCT検査のみを施行します。

また、同意された場合も検査担当医の判断で造影しない場合があります。

なお、入院中の患者さんに対しては、この同意書は今回の入院中すべての造影CT検査に運用されます。

